

# 温室効果ガス排出量検証報告書

青山商事株式会社 御中

## 1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、青山商事株式会社が作成した2024年度の温室効果ガス(GHG)排出量情報の算定報告書(以下、「算定報告書」という。)に記載された2024年度のスコープ1,2,3のGHG排出量とエネルギー使用量が、同社により作成された「青山商事 Scope 算定方法」(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。

検証の目的は、算定報告書の2024年度(2024年4月1日~2025年3月31日)のGHG排出量を客観的に評価し、同社のスコープ1,2,3のGHG排出量とエネルギー使用量の算定の信頼性をより高めることにある。

## 2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISO14064-3」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲はスコープ1、スコープ2(マーケット基準)のエネルギー起源CO<sub>2</sub>及びHFCs、スコープ3のうちカテゴリ1,2,3,4,5,6,7,12,13のGHG排出量、並びにエネルギー使用量であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象の総排出量における5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲はスコープ1,2、エネルギー使用量については青山商事株式会社の本部3拠点、物流7拠点及び国内店舗748拠点、スコープ3については青山商事株式会社とした。

検証においてスコープ1,2、エネルギー使用量の検証については、サンプリングにより選定した神田オフィス、洋服の青山 木場駅前店、SUITSQUARE イオンモール福岡店、洋服の青山 佐賀三日月店、洋服の青山 那覇新都心店、洋服の青山 宜野湾店の6拠点にて現地検証を行った。現地検証では、算定対象範囲の確認、排出源及びエネルギー使用量監視点の確認、算定・集計体制の確認、活動量データについて根拠資料との突き合わせを行った。スコープ3の検証については、統括部門において、算定対象範囲の確認、算定シナリオとアロケーションの確認、算定・集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。なお、現地検証に先立ち、青山商事株式会社本社において算定ルールと算定・集計体制の確認を行った。

## 3. 検証の結論

検証の対象とした、算定報告書の2024年度のスコープ1,2,3のGHG排出量とエネルギー使用量において、算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

## 4. 留意事項

算定報告書の作成責任は青山商事株式会社にあり、GHG排出量及びエネルギー使用量の検証の結論に関する責任は当機構にある。青山商事株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目25番地

一般財団法人日本品質保証機構

常務理事 浅田 純 男

